



志賀小学校道徳便り

はーとふる志賀



令和6年11月29日

あっという間に11月が過ぎ、はや今年の終わりが見えてきました。子どもたちは、寒さにも負けず学習に、運動に、行事に、全力を注いでいます。今年を振り返ったときに、「よく頑張った」と自分を認めることができるように、もう少し踏ん張って頑張っていけたらいいなと思います。

さて、今月号では、ローテーション道徳の様子をお伝えします。



【ローテーション道徳】

志賀町の共通実践としてローテーション道徳という取組があります。管理職や級外の先生にも道徳を行ってもらうことで、学校全体で道徳教育を進めていくことや、授業者と担任とで子どもたちの考えを把握して深い学びにつなげることを目的としています。学期に1回ずつ行っています。2学期は各学年の2組で管理職が授業を行いました。

1-2 教頭先生による「かぼちゃのつる」

自分のことだけでなく周りのことも考えて、わがままなことをしないで生活することについて考えました。



2-2 校長先生による「ドッジボール」

ボールは最後に触った人が？それとも誰かがしてくれるだろう？片付けは誰がすればいいのかやルールについて考え、話し合いました。



3-2 濱名先生による「六べえじいとちよ」
相手を思いやり進んで親切にすることについて考えました。普段の自分はどうかな？と自分の生活を振り返りました。



4-2 濱名先生による「ふるさとを守った大イチョウ」
ふるさとの良さって何だろう？地域の良さや郷土を大切にすることについて考え、話し合いました。



5-2 校長先生による「ドッチボール」
ボールの片付けのトラブルをもとに、「自分が片付けるのは納得いかないけど仕方なく片付ける」、「いや片付けない」など意見が出ました。どうすれば良いのかまで考え、話し合いました。



6-2 教頭先生による「ピアノの音が…」
権利と義務についての教材。互いの権利を大切にすること、大切にするためには？と考えました。また、義務とは何か、その義務を果たす大切さも考えました。



1-1 坂本先生による「どんぐり」
1年生は2クラスのため、2学期は級外が1-1で授業を行いました。

正直な心についての教材。うそをついたりごまかしたりしないで、スッキリした明るい気持ちで過ごす良さについて考え、話し合いました。



校長先生や教頭先生、濱名先生、級外の先生の道徳授業を受ける機会は少ないので、新鮮さを感じながら自分の考えだけでなく友達の考えも大切にして話し合いをしていました✿

私たち教員は、授業づくりにおいて学ぶことができたり、いつもより子どもたちの考えを詳細に把握したりできます。志賀町の素敵な取組だと感じています！